仙	山台高等]門学校	開講年度 平成29年度 (2		授業科	4目				
			,	,	,		-			
科目番号 0271 科目区分						専門 / 選択				
		授業		単位の種別と単位		<u>., </u>				
			レクトロニクス工学科	対象学年	<u> </u>					
開設学科 知能エレク 開設期 後期				週時間数	2					
			- 義については,教科書は用いない。ノー	,						
	X17/J		·							
担当教員 馬場 一隆 Table										
到達目 ・伝送線 ・電磁気	路理論に基	づいて, 同 に基づいて	 軸線路内部の電圧・電流の振舞いについて - 道波管内部の電磁波の振舞いについて							
・マイク	口波回路素	子等の構造	, 導波管内部の電磁波の振舞いについて や原理について説明できる。	10071 CC 20						
レーブ!	Jック									
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レ/	ジルの目安		未到達レベルの目安			
評価項目1			伝送線路理論に基づいて, 同軸線 路内部の電圧・電流の振舞いにつ いて説明できる。	伝送線路理論について理解してい る。		伝送線路理論について理解できない。				
平価項目:	2		電磁気学的な手法に基づいて,導 波管内部の電磁波の振舞いについ て説明できる。	電磁気学的な手法に基づいて, 導 波管内部の電磁波の振舞いを理解 できる。		電磁気学的な手法に基づいて, 導 波管内部の電磁波の振舞いを理解 できない。				
評価項目3			マイクロ波回路素子等の構造や原理について説明できる。	マイクロ波回路素子等の構造や原理を理解できる。		マイクロ波回路素子等の構造や原理を理解できない。				
 学科の3]]達目標	項目との	 関係							
) 教育方法			•							
	47	同軸岭	 路、導波管、マイクロストリップ線路等	の伝送線路につい	て その様	生や性	質について学習する キャーフィク			
既要		□難稼	暗、導放官、マイクロストワップ緑崎寺 のアンテナや結合器、非可逆回路等のマ	アイクロ波回路素子の	の構造や原理	里につ	東にしいにチョッる。また、マイク いて学習する。			
受業の進	 め方・方法		に講義形式で授業を進める。授業の要所							
~> <->~										
		今まで	に学んだ電磁気学や電気回路に関する授	業の基本的な事項	ま, 一通り	聖解し	ている事が望ましい。授業は,基本			
主意点		的に板	書によるノート講義とする。例題やレボ	電磁気学基礎,電磁気学A・B,電気回路,回路工学等と関連する。 学んだ電磁気学や電気回路に関する授業の基本的な事項は,一通り理解している事が望ましい。授業は,基本 こよるノート講義とする。例題やレボートの演習問題について,解法を復習して理解を深めることが重要であ						
		る。 自学自	習として,授業中に示す例題とその解法	について復習する	とともに, /	小テス	ト等で誤った解答をした部分につい			
		ては,	配布した解答例を参考に再度問題を解い	て十分に理解する	こと。 ′					
受業計画	画									
		週	授業内容		週ごとの到	達目標				
	3rdQ	7	3200		同軸線路内部の電圧・電流の振舞いについて説明でき					
		1週	伝送線路理論 1		,線路の諸定数や電圧・電流分布,反射係数等につい					
					て計算できる。					
		2週 位	伝送線路理論 2		同軸線路内部の電圧・電流の振舞いについて説明でき ,線路の諸定数や電圧・電流分布,反射係数等につい て計算できる。					
		乙则								
		3週 位			同軸線路内部の雲圧・雲流の振舞いについて説明でき					
			伝送線路理論 3	伝送線路理論 3		一, 線路の諸定数や電圧・電流分布, 反射係数等につい				
						(計算できる。				
		12E	/二:\		同軸線路内部の電圧・電流の振舞いについて説明でき					
後期	3.49	4週	伝送線路理論 4 		,線路の諸定数や電圧・電流分布,反射係数等について計算できる。					
					同軸線路内部の電圧・電流の振舞いについて説明でき					
		5週 化	伝送線路理論 5	伝送線路理論 5		一、線路の諸定数や電圧・電流分布、反射係数等についる。				
					て計算できる。					
		6週	伝送線路理論 6		同軸線路内部の電圧・電流の振舞いについて説明でる ,線路の諸定数や電圧・電流分布,反射係数等につい					
				<u> </u>	、秋崎の間足数や電圧・電流が削、反射係数等につい て計算できる。					
		7週	導波管 1				波の振舞いについて説明できる。			
		8週	導波管 2		導波管内部の電磁波の振舞いについて説明できる。					
		9週	導波管 3		導波管内部の電磁波の振舞いについて説明できる。					
		10週	導波管 4		導波管内部の電磁波の振舞いについて説明できる。 導波管内部の電磁波の振舞いについて説明できる。					
		TU氾	守							
		11週	マイク□波回路素子 1		結合器、非 原理につい		路等のマイクロ波回路素子の構造だ できる。			
	4thQ	40)5					, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>			
		12週	マイクロ波回路素子 2		原理につい					
		13週	マイクロ波回路素子3		結合器、非可逆回路等のマイクロ波回路素子の構造や 原理について説明できる。					
		14週	マイクロ波回路素子4		結合器、非可逆回路等のマイクロ波回路素子の構造や 原理について説明できる。					
					原埋につい	て説明	Jできる。			
		15週	期末試験							
		16週	答案返却と解答の解説							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標										
<u>ーノ / レ -</u> }類		分野		標			到達レベル 授業週			
平価割合	<u>~</u>	/ J ± J		1925			上10年レーツレー 12末년			
十1川吉川	<u> </u>		C-140=256A				_=I			
:-			定期試験	小テスト			合計			
総合評価	割合		80	20			100			

±0045481	00	20	100
専門的能力	180	20	100